

あとがき

〈編集顧問〉

和 泉 徹
太 田 保 世
小 川 聡
諏 訪 邦 夫
永 井 良 三
堀 江 孝 至

〈編集委員〉

小 室 一 成
巽 浩一郎
橋 本 修
平 山 篤 志
福 田 恵 一
三 嶋 理 晃

〈編集協力委員〉

赤 石 誠
大 江 元 樹
北 風 政 史
小 山 信 一 郎
中 沢 潔
(五十音順)

本号の特集テーマは、「心臓病における核医学検査の進歩」である。私は、心不全の発症機序について研究をしてきた。心不全の原因疾患としては、虚血性心疾患、高血圧、弁膜症、心筋症が4大疾患である。高血圧や弁膜症は無論のこと、心筋症でも心重量は増加している。また陳旧性心筋梗塞の心臓では、梗塞部は線維化により菲薄化しているが、反対側の壁は肥厚している。つまり心不全の発症前には、どの疾患においても心肥大が形成されているのである。心肥大は、圧負荷、容量負荷といった機械的負荷に対して、壁ストレスを低下させるための代償機序として形成されるものであり、通常収縮機能は正常である。しかしこの時点ですでに、遺伝子発現は胎児化し、代謝は脂肪酸から糖代謝に変換し、交感神経活性も幾分亢進しているといわれている。「心不全は、代償機序である心肥大が破綻すると発症する」という概念が提唱されたのは、はるか数十年前であるが、その破綻する機序は何であろうか。これがまさに心不全発症の分子機序であり、未だに大きな謎なのである。このような心不全の発症機序をヒトにおいて、解明できるのではないかと期待されるのが、核医学検査である。脂肪酸代謝から糖代謝に変換しただけでは、収縮機能は低下しない。そこに何かが加わると機能低下が始まるのか。交感神経活性の亢進は、本当に心肥大時にすでに始まっているのであろうか。心肥大と心不全の間には、いったい何があるのであろうか。「心臓病における核医学検査の進歩」がこの謎を解いてくれることを期待したい。

(小室一成)

呼吸と循環(第61巻 第11号)

2013年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

2013 年年間購読料
 冊子版 32,400 円 冊子+電子版/個人 37,400 円
 冊子+電子版/共有 42,300 円
 電子版/個人 32,400 円 電子版/共有 37,300 円
 (税込, 送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 吉富・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。